

令和5年度〔自己評価報告書〕

| | | |
|------|-----|-------|
| 学校番号 | 学校名 | 校長名 |
| 25 | 東橋中 | 猫橋 則文 |

| 学校教育目標 | 学校経営の目標 | 今年度の重点目標 |
|--|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・自主的に学び、心理の追求をめざす人間の育成(知) ・自他を共に尊重し、自立の精神に基づく責任ある行動のできる生徒の育成(徳) ・明朗で健康な生活を営むことのできる人間の育成(体) | <ul style="list-style-type: none"> ○「確かな学力」の伸長(知) ○豊かな心の育成(徳) ○健やかな体の育成(体) | <ul style="list-style-type: none"> ○支援教育を充実させる ○小中連携・支援教育の推進～切れ目のない適切な支援の継続 <p>【目指す生徒像】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自ら考え主体的に行動し、他者を理解できる人(知) ・正しいことを学び、正しい行動ができ、正しい判断ができる人(徳)(体) |

| 評価項目 | 具体的な取組 | 実現状況及び課題 | 具体的な改善策 |
|-----------------------------------|---|---|---|
| 1 学習指導の充実 | <ul style="list-style-type: none"> ・「分かりやすい授業」「楽しい授業」「ためになる授業」を推進していく。 ・川崎市学習状況調査の結果、分析に基づく学習指導の改善を図っていく。 | <ul style="list-style-type: none"> ・「分かりやすい授業」について、80%以上の生徒及び教員が実践していると感じている。 ・教科、総合的な学習の時間等で実社会・実生活で必要となる「生きる力」の育成を目指した指導計画を立案し授業実践を行っている。 ・「思考力」「表現力」を各教科、領域ともに意識的に実践したが、今後も継続する必要がある。 | <ul style="list-style-type: none"> ・学力の3要素を意識し、基礎学力の習得と活用の能力、また、それを支える意欲の育成を図る。 ・学習状況調査等の結果を踏まえ、一人ひとりの学習履修状況を把握し、より良い指導の在り方を検討していく。 ・さらに学習相談の充実を図っていく。 |
| 2 支援教育の推進 | <ul style="list-style-type: none"> ・支援が必要な生徒への組織的な対応を行う。 ・情報共有、効果測定、学習相談、教育相談等とおして生徒の状況把握に努める。 ・学習室の有効活用を図る。 | <ul style="list-style-type: none"> ・校内研修をとおして、生徒理解と指導の在り方について理解が深まった。 ・学習室の運営を含め、支援を必要とする生徒への組織的な対応が必要である。 ・教員の生徒へのより良い言動について研修を行った。 | <ul style="list-style-type: none"> ・支援が必要な生徒等、様々な課題を抱えた生徒に対して、生徒一人ひとりの教育的ニーズに応えるために、校内支援体制をさらに整え支援教育を充実させる。 |
| 3 特別支援学級(支援級)における指導・支援体制の構築と充実 | <ul style="list-style-type: none"> ・丁寧かつきめ細やかな指導・支援を実践していく。 ・カリキュラムの検討(研修)と改善を行う。 ・保護者への丁寧な説明と組織的な対応を行う。 | <ul style="list-style-type: none"> ・支援級において、保護者と連絡を密にし個別計画を作成し、きめ細やかな教育実践を行っている。 ・交流級との連携を図っている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・きめ細やかな支援計画を立てるにあたり、教員の配置に限りがあるため、学校全体での組織的な対応が必要である。 ・交流級との積極的な連携を図るために、普通学級の教科担任による授業交流を増やしていく。 |
| 4 特別活動の推進 | <ul style="list-style-type: none"> ・日ごろの授業をとおして、自己をみつめ他人を思いやる姿勢を身に付けさせる。授業における指導法について、校内授業研究で共有理解をしていく。 ・リーダーの育成と生徒会活動の活性化を図る。 ・生徒や地域の状況を踏まえた部活動を推進する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・校内授業研究で「仲間と学ぶ～学び合い、伝え合い、深め合う活動～」のテーマで、教職員同士で活発な討議を行うことができた。 ・行事において、生徒の主体的活動を大切にしている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・学活の授業を行事のためだけではなく、自分たちの学校生活等を考えさせる時間を確保していく必要がある。 ・部活動の変革期に入っており、部活動の意義を再確認し、ガイドラインの遵守に努める。 |

| | | | | |
|---|-----------|--|---|--|
| 5 | 生徒指導 | <ul style="list-style-type: none"> いじめ、不登校、暴力行為等の未然防止と早期発見・早期対応を行っていく。 非行防止の視点での取組を行っていく。 | <ul style="list-style-type: none"> 生徒一人ひとりを「かけがいのない存在」と受け止め、個に応じた適切な指導と安心することのできる「心の居場所」づくりに心がけている。 登校を促すことばかりでなく、個の状況や意向を理解し、生徒や保護者の気持ちに寄り添った支援・指導を心がけている。 非違行為のケースが一部みられ、関係機関との連携を強化していく必要がある。 | <ul style="list-style-type: none"> 教育相談等をさらに充実していく。 学級における居場所づくりに努める。 他者を思いやる心の育成を推進していく。 引き続き、いじめ防止基本方針に基づく適切な対応を行っていく。 非行防止に関わる取り組みを行う。 学年・学校全体で生徒の状況を把握し共有していく。 |
| 6 | 健康安全指導 | <ul style="list-style-type: none"> 体力の向上及び健康増進を目指す健康教育の推進 安全でおいしい学校給食の実施 | <ul style="list-style-type: none"> 体力テスト、健康診断の結果をもとに生徒自らが体力の向上や健康に関心を持ち、健康を保持増進し生活を改善できるよう指導助言を行っている。 | <ul style="list-style-type: none"> 生涯にわたり、健康の保持・増進と、生活を改善する力の育成を図る。(食育の推進) 気温が高くなる時期における熱中症予防対策を強化していく。 |
| 7 | 開かれた学校づくり | <ul style="list-style-type: none"> 教育活動を公開し、学校HP、学校だより、学年だより等、学校の情報配信 小中連携研究実践を生かした、学校づくり。 | <ul style="list-style-type: none"> 教育活動の公開、学校HP、学校便り、学年便り等、学校の情報を発信し、保護者や地域の方々の学校教育への理解を得るよう努めている。 生徒が健やかに育つために、子母口小学校・久末小学校との連携を大切にし、児童・生徒理解に心がけ、魅力ある学校づくりに取り組んでいる。 | <ul style="list-style-type: none"> 地域の教育力を活用した学校運営を推進する。 コミュニティ・スクールの充実を図る。 不安から安心、そして信頼、期待される学校づくりを目指す。 義務教育9年間の学びの連続性を意識した取組を推進していく。 |

| 学校関係者の評価 | 今年度のまとめ・次年度へ向けて |
|---|---|
| <p>【学校評価アンケート結果から】</p> <ul style="list-style-type: none"> 総合的な学習の時間において積極的に取り組んでいる。 学年だよりや学級通信で家庭に向けて積極的に発信している。 教員が生徒の話を聴き、相談にのっている。 学校の施設等は安全である。 保護者の調査で「わからない」という回答が多かった。 →アンケートの聴取方法の見直しや保護者の意見・感想を聞き出せる仕組みを構築していく。 <p>【学校運営協議会(コミュニティ・スクール)から】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「ふれあい音楽会」等の行事で生徒と一緒に鑑賞したが、生徒の鑑賞する姿勢がメリハリのある姿勢が素晴らしいと多くの委員から高い評価を受けた。 今後は日常の教育活動の様子等を保護者や地域に発信していく必要がある。 <p>【学校生活検討委員会から】</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒、教職員、保護者、地域の代表者で構成される委員会として位置付けている。年2回開催されるが、本年度は3月に開催し、主に学校生活全般(校則等を含む)について話し合う予定。 | <p>【まとめ】</p> <p>これまでの学校運営体制を振り返り、あらためて人権を尊重する教育の充実が必要であると感じる。そのために生徒一人一人の内面に向き合い、生徒の学びを支え、心に寄り添う指導を進めていきたい。特に不登校生徒の状況把握や対策に関しては、校内組織を充実させ今後も改善しながら重要課題として力を入れたい。</p> <p>【次年度の取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> 不登校生徒への支援を含め、支援を要する生徒への組織的な対応を行う体制づくりを進めていく。 生徒の学習に対する積極的な姿勢を育成していく。 様々な行事等を通して、他者への思いやり、他者への関わり大切にしていきたい。 子母口小学校と久末小学校との連携を基盤とした情報の共有を図っていく。 |